

各 位

上場会社名	株式会社 ケーヒン
代表者	取締役社長 小田垣 邦道
(コード番号	7251)
問合せ先責任者	管理本部総務部長 野村 金一
(TEL	03-3345-3411)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月7日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位: 百万円)

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	158,800	8,600	8,800	4,000	54.08
今回発表予想(B)	161,530	9,931	10,354	1,275	17.25
増減額(B-A)	2,730	1,331	1,554	△2,724	——
増減率(%)	1.7	15.5	17.7	△68.1	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	168,928	12,063	12,849	4,347	58.77

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	329,100	19,600	20,100	10,000	135.20
今回発表予想(B)	329,100	18,900	19,500	5,500	74.36
増減額(B-A)	—	△700	△600	△4,500	——
増減率(%)	—	△3.6	△3.0	△45.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	339,320	24,008	24,456	11,201	151.44

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	83,300	650	3,200	2,300	31.10
今回発表予想(B)	85,537	1,810	5,065	319	4.32
増減額(B-A)	2,237	1,160	1,865	△1,980	——
増減率(%)	2.7	178.6	58.3	△86.1	——
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	87,901	1,075	3,792	926	12.52

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	171,700	2,500	6,100	4,400	59.49
今回発表予想(B)	174,200	2,280	6,370	570	7.71
増減額(B-A)	2,500	△220	270	△3,830	——
増減率(%)	1.5	△8.8	4.4	△87.0	——
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	180,902	4,286	7,053	3,363	45.47

修正の理由

1. 連結業績について

第2四半期累計期間の業績につきましては、当社製自動車用エンジン部品である燃料ポンプの不具合による市場回収処置に伴う製品保

証引当金5,991百万円の繰入を行ったこと等により、四半期純利益は前回予想を下回りました。

通期業績予想につきましては、製品保証引当金5,991百万円の繰入を行ったこと等により、上記のとおり修正いたします。

2. 個別業績について

第2四半期累計期間の業績につきましては、海外子会社からのロイヤリティー及び受取配当金の増加、為替影響等の理由により、営業利益、経常利益は前回予想を上回りましたが、当社製自動車用エンジン部品である燃料ポンプの不具合による市場回収処置に伴う製品保証引当金4,733百万円の繰入を行ったこと等により、四半期純利益は前回予想を下回りました。

通期業績予想につきましては、製品保証引当金4,733百万円の繰入を行ったこと等により、上記のとおり修正いたします。

※ 本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績予想のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な重要要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対ドルをはじめとする円の為替レート等が含まれます。

以 上